

# さかい～統計情報館

The statistical report of Sakai City



今回の数字

# 846 人

作成日：平成 19 年 11 月 22 日

作成元：坂井市役所 情報政策課

TEL:0776-50-3014

FAX:0776-67-7509

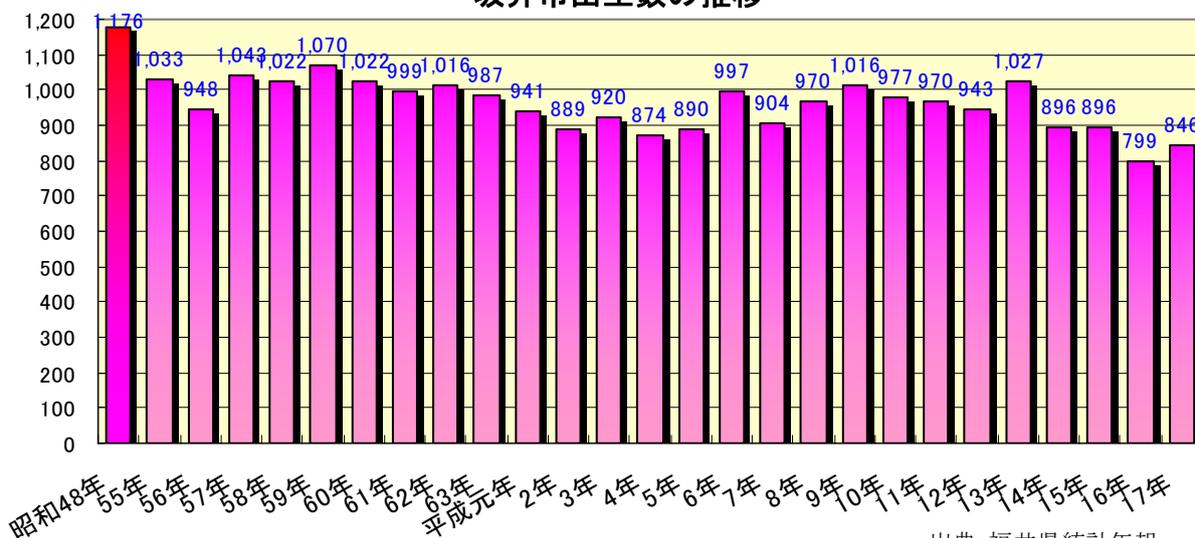
MAIL: jyouhou@city.fukui-sakai.lg.jp

## ～コウノトリはどこへ？～

今年5月、兵庫県豊岡市の兵庫県立コウノトリの郷公園で試験的に放鳥されているコウノトリにヒナが誕生しました。この辺りでは、野生コウノトリ復活のために、えさとなるドジョウやカエル等が数多く生息できるよう、自然環境に配慮した稲作が行われており、そこで収穫されたお米は大人気だそうです。ヨーロッパでは「赤ちゃんはコウノトリが運んで来る」という言い伝えがあり、皇太子様がご婚約の会見で、お子様の誕生について訊ねられた際に、「コウノトリのご機嫌にまかせて…」と、そのことを引用され、お答えになられたことは有名な話です。全国的に出生数の減少による「少子化」が社会問題として大きく取り上げられています。

坂井市の年間出生数について※1)人口動態統計の結果から、第二次ベビーブームで最も出生数の多かった昭和48年と昭和55年から平成17年までの約25年についてグラフにしました。子供の出生数は、母親になる年代の人口にも左右されますが、近年はかなり減少する傾向にあり、平成17年は、昭和48年と比較すると300人以上、約3割も減少しています。全国的にも出生数は減少傾向にあり、平成17年の出生数は106万2,530人で、昭和48年の209万1,983人と比較すると、100万人以上、約半数にまで大きく減少しています。

坂井市出生数の推移



出典：福井県統計年報

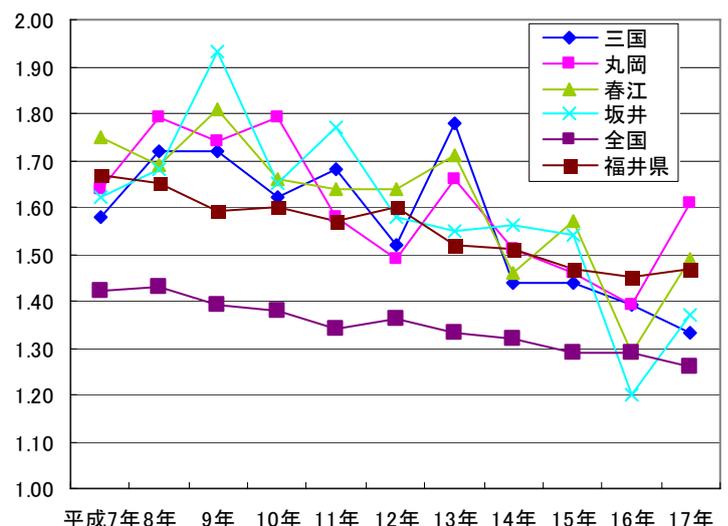
少子化の状況を計る指標として「合計特殊出生率」があります。15歳から49歳までの女性の年齢別出生率を合計したもので、1人の女性が仮にその年次の年齢別出生率で一生の間に生むとしたときの子ども数に相当し、次の算式から求められます。

$$\text{合計特殊出生率} = \frac{\text{母の年齢別出生数}}{\text{年齢別女性人口}} \quad \text{15歳から49歳までの合計}$$

坂井市の旧4町の合計特殊出生率について、平成7年からの10年間の推移を国・県の値と比較しながらグラフにしました。坂井市の旧4町の平成17年の合計特殊出生率は下表のとおりですが、4町合計した率は**1.48**（出典：坂井健康福祉センター事業概要）でした。全国の率を大きく上回っており、福井県の率は、わずかながら上回りました。この10年間の推移を見ると、旧4町のグラフには増減はありますが、全国・福井県と同様に減少傾向にあるようです。長期的に人口を維持するには、この合計特殊出生率が**2.07**を超えていなければならないそうですが、全国の合計特殊出生率は、昭和48年の2.14の後、49年に2.05と下回って以後は、一度も超えていません。現在は寿命の延びにより人口を維持していますが、この先維持することは困難な状況です。

合計特殊出生率の推移

町別	平成7年	8年	9年	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年
三国町	1.58	1.72	1.72	1.62	1.68	1.52	1.78	1.44	1.44	1.39	1.33
丸岡町	1.64	1.79	1.74	1.79	1.58	1.49	1.66	1.51	1.46	1.39	1.61
春江町	1.75	1.69	1.81	1.66	1.64	1.64	1.71	1.46	1.57	1.29	1.49
坂井町	1.62	1.68	1.93	1.65	1.77	1.58	1.55	1.56	1.54	1.20	1.37
全国	1.42	1.43	1.39	1.38	1.34	1.36	1.33	1.32	1.29	1.29	1.26
福井県	1.67	1.65	1.59	1.60	1.57	1.60	1.52	1.51	1.47	1.45	1.47



出典：人口動態統計(確定数)の概要  
坂井健康福祉センター事業概要

今年は60年に一度回ってくる『金亥』の年だそうです。日本では「亥」ですが中国や韓国では「豚」で『金豚』の年となり、「この年に生まれた子供は一生お金や食べ物に困らない」と言い伝えられています。韓国では、近年、少子化が急進展している中、ベビーブームが到来するといわれています。一方、日本では、厚生労働省が公表した人口動態統計速報(概数)によると、全国の今年上半期の出生数は、546,541人で、前年から2,714人(0.5%)減となっているようです。厚生労働省公表の統計とは種類が異なりますが、※2)「人口統計調査報告」によると、坂井市の上半期の出生数は、396人で前年から24人(5.7%)もの大きな減少になっています。

※1)「人口動態統計」：市町村長が人口動態調査令に基づき、戸籍法による届出およびその他の関係書類から作成した人口動態調査票(出生・死亡・死産・婚姻・離婚)のうち、日本における日本人について分類集計したもの。

※2)「人口統計調査報告」：各月ごとの住民基本台帳および外国人登録原票の変更数を変更種類別に集計したもの

★今回の数字の答え★：平成17年坂井市の出生数(人口動態統計)